

オンライン公開セミナー(第1回)

能登半島の風力発電における 『累積的影響評価』を考える

主催：石川県立大学生物資源環境学部 緑地環境学研究室

共催：東京都市大学環境学部 北村研究室

カーボンニュートラルの実現や、環境を重視したESG投資やグリーンリカバリーによる経済復興が社会的な潮流となる中、再生可能エネルギーへの期待が高まっています。能登半島においても多くの風力発電機の設置や建て替えが計画されており、法律に基づく環境アセスメントの手続きが始まっています。一方で、複数の計画が並行して進んでおり、地域の自然環境への影響も懸念されていますが、複数の風力発電機による複合的・累積的な影響については国内では情報が不足しています。そこで本セミナーでは、特に鳥類への影響に着目し、累積的影響評価の技術や課題について学びます。

※ 本セミナーでは、学術的な中立の立場から『累積的影響評価』の技術を学ぶことを目的としています。

日時：2022年3月21日(祝) 13時30分～15時00分

場所：Zoom ウェビナーによるオンライン開催

プログラム

趣旨説明：セミナーの狙いと「累積的影響評価」勉強会の立ち上げについて

上野 裕介(石川県立大学生物資源環境学部 准教授)

基調講演：風力アセスメントの現状と累積的影響評価

北村 亘(東京都市大学環境学部 准教授)

話題提供1：能登半島の鳥類

木本祥太(日本野鳥の会石川)

話題提供2：北海道での事例紹介：道北風力事業における鳥類の保全に関する協議会

小杉 晃(株)ユーラスエナジーホールディングス 国内事業企画部)

話題提供3：コンサルタントからみた『累積的影響評価』を行う上での課題と海外事例の紹介

島田 泰夫((一財)日本気象協会)

参加者数：100名(先着順です)

申込方法：以下のURLもしくは2次元バーコードから事前に登録してください。

開催日の午前中までに、接続用のZoomURLをお送りします。

<https://forms.gle/9YpGqV36e8u9rzQC6>

問合せ：石川県立大学 緑地環境学研究室 kendai.ryokuchi@gmail.com



申込フォーム